



# し わ そう 志・和・創

厚東川中学校  
学校だより  
2022/1月号  
No.2

## 「志和創を心に刻む」

校長 梅津 麻由美

新しい年が始まりました。厚東川中学校は今年の4月に開校7年目を迎えます。本校では校訓「志和創」のもと、生徒一人ひとりがそれぞれの目標をもち、中学校の3年間を過ごしています。

「志和創」とは、

志・・・大きな目標に向かって、何事にも取り組む生徒  
和・・・人の心を大切にし、誰とでも仲良くできる生徒  
創・・・意欲をもって学び、新しい自分を創り出す生徒



日々の教育活動を通して、校訓「志和創」は知らず知らずのうちに生徒や教職員の心の中に浸透しています。校訓を見つめ直し、実践することで、私たちは価値観を共有するとともに、厚東川中学校の一員であることの自覚をより一層高めることができます。

「志和創」の中でも、先の予測が困難な時代においては、「創」の部分が特に重要になってくると思います。受け身ではなく、主体的に考え、行動する。自ら学び続け、学校で得た知識を実生活に生かして社会に貢献する。厚東川中学校の生徒には、そんな人になってほしいと思っています。

「創」という言葉を見て、東井義雄（とうい よしお）先生の言葉を思い出しました。東井先生は、明治45年に兵庫県の貧しいお寺に生まれ、苦学して小学校教師となりました。多くの学校での講演や著作を通して、子どもたちに生き方を教えてきました。先生が全国各地の学校で講演した内容をまとめた本の中に、「10代の君たちへ 自分を育てるのは自分」という本があります。その中に、

「自分は自分の主人公 世界でただひとりの自分を創っていく責任者」

という言葉が出てきます。これは、自分という人間を粗末にせず大切にすること。自分の人生をどうするかは、自分が判断しなくてはならないということです。世界でただ一人の自分を、どんな自分に仕上げていくのか、その責任者が自分であるということです。

私たちには様々な可能性があります。身体の成長にはピークがありますが、心の成長には限りがないと思います。自分自身の心を育て、自分の持ち味をよりよく伸ばしていくことで、唯一無二の自分を創っていくことができると思います。

2022年の始まりにあたって、校訓「志和創」を心に刻み、引き続き教育活動の充実に努めてまいります。本年も、保護者や地域の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。